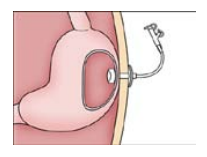
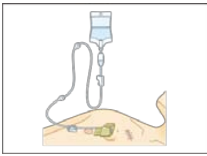


疾病の成り立ちと回復の促進④ 臨床栄養学

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
タンパク質の高次構造 (1分34秒)		たんぱく質はアミノ酸が多数結合した高分子であり、アミノ酸同士の結合をペプチド結合と呼ぶ。ペプチド結合は結合のレベルにより一次～四次に分けられる。	1章 臨床栄養学の基礎知識 ■ 2 栄養とは 2 栄養素の分類
エネルギーの発生と貯蓄のしくみ (1分36秒)		生物は体内にエネルギーをためておき、必要なときに放出することができる。アデノシン三リン酸（ATP）と水が反応し、高エネルギーが放出される。	2章 食品成分と食事摂取基準 ■ 1 食品成分とエネルギー 2 エネルギー消費量 3章 日常生活と栄養 ■ 2 運動と栄養 1 運動とエネルギー源としての栄養素
不飽和脂肪酸 (2分31秒)		炭化水素の鎖の一端にカルボキシ基（-COOH）を一つもつ物質を脂肪酸という。脂肪酸は、炭化水素の鎖において炭素が水素で飽和されて二重結合のない飽和脂肪酸と、二重結合（-CH=CH-）をもっている不飽和脂肪酸に分けられる。	2章 食品成分と食事摂取基準 ■ 2 日本人の食事摂取基準（2020年版） 7 エネルギー・栄養素
細菌性食中毒の予防 (2分35秒)		細菌性の食中毒を予防するためには、食品に菌を寄せ付けないことや、菌を増殖させないことが重要である。食品中の細菌の増殖について実験を行う。	3章 日常生活と栄養 ■ 1 食文化 4 食の安全・安心を守る取り組み
さまざまな代謝 (1分26秒)		栄養素別に、糖質代謝、脂質代謝、タンパク質とアミノ酸の代謝、核酸・ヌクレオチドの代謝の代謝の流れを提示する。	3章 日常生活と栄養 ■ 2 運動と栄養 1 運動とエネルギー源としての栄養素
エネルギーコントロール食 (5分55秒)		エネルギーコントロール食とは、適正なエネルギーを摂取することで疾患の治療効果を高めるもの、栄養素のバランスがとれたもの、塩分が控えめなもの、という条件がある。エネルギーコントロール食に適応する疾患は、糖尿病、心臓病、高血圧症などがあげられる。	4章 療養生活と栄養 ■ 2 栄養成分別のコントロール食 1 エネルギーコントロール食
たんぱく質コントロール食 (5分37秒)		たんぱく質コントロール食とは、たんぱく質の摂取を制限することで治療効果があがる疾患に適応されるもの、低たんぱく高エネルギーでは治療効果があがる。塩分と水分の制限が必要な場合もある。	4章 療養生活と栄養 ■ 2 栄養成分別のコントロール食 2 たんぱく質コントロール食

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
塩分コントロール食 (3分12秒) 		塩分コントロール食は、塩分を制限すると治療効果があがる疾患に対して用いられる。食塩制限を行うことで降圧効果が期待できる場合にも用いられる。	4章 療養生活と栄養 ■ 2 栄養成分別のコントロール食 4 水・電解質コントロール食
嚥下障害 (嚥下造影検査；VF) (1分) 		嚥下の正常例と咽頭期嚥下障害のX線画像を提示する。	4章 療養生活と栄養 ■ 3 嚥下障害のある人のための食事
呼吸と嚥下 (48秒) 		口腔から咽頭までの間は、呼吸のためのはたらきと摂食・嚥下のためのはたらきの両方の機能を有している。呼吸と嚥下、それぞれの動きを理解しよう。	4章 療養生活と栄養 ■ 3 嚥下障害のある人のための食事 1 摂食障害の原因になる疾患と障害部位
摂食困難なときの食事 (9分1秒) 		嚥下機能に合わせた調理方法を行うための便利な調理器具を紹介、嚥下機能に合わせた調理方法や献立を紹介する。	4章 療養生活と栄養 ■ 3 嚥下障害のある人のための食事 3 嚥下調整食
胃瘻 (4分21秒) 		在宅における胃瘻栄養法について、実際の在宅療養者の場面を紹介する。	4章 療養生活と栄養 ■ 4 経口摂取できない患者のための栄養管理 1 経管栄養
経鼻経管栄養 (3分57秒) 		在宅における経管栄養法の一つ・経鼻経管栄養法の手順を紹介する。	4章 療養生活と栄養 ■ 4 経口摂取できない患者のための栄養管理 1 経管栄養
注入の手順 (4分17秒) 		在宅での中心静脈を介した輸液管理について、針を抜去すれば自由に歩行や入浴ができる皮下埋め込み式（ポート式）を、実際の在宅療養場面を交えて紹介する。	4章 療養生活と栄養 ■ 4 経口摂取できない患者のための栄養管理 2 中心静脈栄養

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
消化器系 (1分22秒) ✖		回転映像	5章 疾患別の栄養食事療法 ■ 1 消化器系疾患
栄養食事指導 (個人指導の一例) (4分58秒) 🔊		鉄欠乏性貧血の女性に対する食事指導の一例を提示する。 ※日本人の食事摂取基準（2010年版）において、「30歳（女性）、月経あり」の場合の鉄摂取の推奨量は、11.0mgとなりました。ご注意ください。	6章 栄養食事指導の実際 ■ 2 食習慣改善のための栄養食事指導 1 栄養食事指導の基本